

2026 年度 全道モトクロス選手権シリーズ 特別規則

2026.1.5 初版

公 示

本特別規則は、MFJ 国内競技規則に基づき、北海道地区モトクロス部会が定める全道モトクロス選手権シリーズの特別規則である。

【1】 大会主催者および開催日程

- 詳細は、別途レースカレンダーにて示される。

【2】 大会運営・実行組織

- 詳細は、公式通知または公式プログラムに示される。

【3】 大会公式通知

- 本規則に記載されていない競技運営に関する実施細則および参加者への指示事項並びにタイムスケジュールは大会公式通知にて発表する。

【4】 開催競技種目・参加資格について

クラス名称	参加資格（下記ライセンスは当該年度有効であること）
CX50A/B	※1 参照
キッズ 65 (K65)	PC または MX ジュニアライセンス所持者
ノービス 85 (NB85) 廃止	MX 国内 B 級ライセンス所持者
オープン 85 (OP85)	MX ジュニア ・NB・NA・IB・IA ライセンス所持者
ファンバイク A/B	当該年度有効な MFJ 競技ライセンス（種目問わず） ピットクルーライセンス（運転免許証を持っていることを条件とするタイプ A エンジョイ会員証、スポーツ安全保険加入を選択した競技役員ライセンス所持者
ジュニアクロス (JX)	MX ジュニアライセンス所持者
ノービス (NB)	MX 国内 B 級ライセンス所持者
ナショナル (NA)	MX 国内 A 級ライセンス所持者
インターナショナルオープン (IO)	MX 国際 A 級・国際 B 級ライセンス所持者

* 各クラスの成立台数は出走台数 2 台以上とする。

* 承認クラスも完走者の定義を

「優勝者の 75%（少数点以下は切り捨てる）以上の周回数を完了したライダーを完走者とする。」

へ変更し完走者のみポイント付与対象とする。

* **ファンバイククラスについて**

参加車両は（4 ストローク 143cc 以下または 2 ストローク 50cc 以下） かつ 後タイヤサイズ 16 インチ以下の国内販売競技車両とする。

（例として TTR125、CRF125F、KLX125、DR-Z125、XR100R、KLX110、CRF100F など）

ファンバイククラスは 2 クラス制混走。後タイヤ 16 インチを A クラス、16 インチ未満を B クラス

賞典、ランキング集計を行う。

希望ゼッケン無償

ファンバイククラスは気軽に参加でき、モトクロスコースを走行体験できる楽しむカテゴリーである。

速度アベレージが速いライダーは追い越しの際、十分安全な間隔をとること。絶対に危険な走行はしないこと。

※1. CX50 クラスの詳細

- 1) 参加資格：「**小学校6年生以下**」で PC または MX ジュニアライセンス所持者。
 *大会開催日時点で小学校6年を越える方は参加することができない。
 *CX50A 及び B クラスのシリーズチャンピオンは「MFJ 全日本ランキング認定表彰式」における表彰対象者として認定される。
- 2) 開催クラス：CX50A 出場車両（国内メーカー）／CX50B 出場車両（外国メーカー）
 賞典はそれぞれに適用。但し混走レースとする。
 *出場車両の仕様については、[2026MFJ 国内競技規則 モトクロス 付則 18-2 50cc クラスの仕様について](#) を参照。
- 3) 競技時間：8 分+1 周
- 4) CX50 クラスはコースコンディションが著しく悪化した場合、競技監督・主催者の判断によりエントリー料を返金し、競技開催を中止する場合もある。
- 5) スタート方式：基本的にはスターティングマシンを使用せず、安全を確保したスタート幅で実施
~~（大会によってはスターティングマシン使用の場合あり）~~
 - ①エンジンをかけた状態でスタートラインに整列。
 - ②右手をヘルメットにつけアクセルに触れずスタート合図を待つ。
 - ③日章旗を地面から上に振り上げ、スタート合図とする。

【5】 出場車両

- ジュニアクロス・ナショナルはMFJ 公認車両でなければならない。
 *公認車両のリストは 2026MFJ 国内競技規則書及び MFJ ホームページのリストをご確認ください。
- 各クラスの出場車両については下記の条件に基づく。

クラス	車両規則	排気量	
		2 ストロークエンジン	4 ストロークエンジン
CX50A・B	50cc クラスの仕様	50cc まで	50cc まで
キッズ 65	基本仕様のみ	49 c c を超え 65cc まで	49cc を超え 110cc まで
ノービス 85・オープン 85	基本仕様のみ	65cc を超え 85cc まで	85cc を超え 150cc まで
ファンバイク	基本仕様のみ	1 ページを参照	
ジュニアクロス	MFJ 公認車両	65cc を超え 85cc まで	85cc を超え 150cc まで
ノービス	基本仕様のみ	下記 2 クラス・1 クラスのいずれか	
ナショナル	MFJ 公認車両		
インターナショナルオープン	基本仕様のみ		
2 クラス		100cc を超え 125cc まで	175cc を超え 250cc まで
1 クラス		175cc を超え 250cc まで	290cc を超え 450cc まで

※2 ストローク 150cc で MFJ に公認された車両は 1 クラス・オープンクラスへの出場が認められる

【6】 参加定員

- 参加申込に対する定員は、定めない。

【7】 参加資格・注意事項

- ライダー
 - 1) 2026 年度有効な当該 MFJ モトクロス競技ライセンス所持者とする。
 - 2) 未成年者は大会当日親権者または親権者が委任する所属クラブの代表者が同伴しなければ出場を認めない。
 - 3) ライダーがコースの下見をする際は、ライセンス証を外部から認識できる位置に装着すること。
- ピットクルー
 - 1) 2026 年度有効な MFJ ピットクルーライセンス所持者であり、かつエントリー申請書の記載者とする。
 - 2) 大会当日は、必ずピットクルーライセンスを確認できる場所に装着すること。
 - 3) スターティングエリア・サインエリア・ピットエリアに入場する際は係員にライセンス証を提示する。
 - 4) ピットクルーの違反行為（無資格者も含む）、競技役員に対する暴言等は、当該ライダーにペナルティーを課す場合がある。
 - 5) ウエイトングエリア・スターティングエリアおよびサインエリアでの喫煙を禁止する。

【8】 参加申込・エントリー方法

- 一次締め切り：大会開催日の1ヶ月前から4 日前（開催週の水曜日まで）必着とする。
（エントリー用紙とエントリー料が到着していることを条件とする）
- 一次締め切日を超えた場合は、**レイトフィーとして 3,500 円を徴収**しエントリーを受け付ける。
- 最終締め切り日は全大会共通で大会2 日前（開催週の金曜日）17:00 必着とする。

	開催日	一次締め切り	最終締め切り
第1戦 千歳大会	5月17日	4 日前必着	2 日前 17:00 必着
第2戦 釧路大会	6月21日		
第3戦 札幌大会	7月26日		
第4戦 釧路大会	8月23日		
第5戦 札幌大会	9月6日		
第6戦 千歳大会	10月4日		

- 大会前日および当日の申し込みはできない。
- 所定の参加申込書に必要事項を全て記入（出場車両のエンジン・フレーム No.および年式を記入）の上、エントリー料金を添えて現金書留または持参で申し込む。
- ジュニアクロス・ナショナルは MFJ 公認車両であることを自身で確認のうえエントリーすること。
- 申し込み先は、別途競技日程/申込先に示す。
- 主催者により現金書留以外のエントリー方法が指定される場合がある。
- 電話または締め切日以降の申込、エントリー料不足の申し込みは一切受付けない。

【9】 全道モトクロス選手権エントリー料

出場クラス	エントリー料金
CX50A・B	6,000 円
キッズ 65	10,000 円
NB85・OP85	12,000 円
ファンバイク	6,000 円
ジュニアクロス	13,000 円
NB・NA・IO	14,000 円
クラス追加	5,000 円

※クラス追加の場合は料金の高い方のクラスに **5,000 円**を追加する

※一時締切り後のレイトフィーとして 3,500 円徴収

【10】 参加受理または拒否

- 必要事項のすべてが明記された出場申込書及び所定の金額が大会事務局に受理された時点で参加が受理されたものとする。
- 一旦受理された出場料は、大会中止以外返還しない。
- 大会中止の場合、参加者が支払った出場料は全額返還されるが、他の損害賠償を主催者に請求することができない。
- 主催者は参加者に対してその理由を明らかにする事なく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。

【11】 ウェアラブルカメラ

- ヘルメットおよび装備品（身体）にウェアラブルカメラを装着することは禁止する。
- 車体への装着は認められるが、装着方法が危険と判断された場合は、取り外しを指示される場合がある。

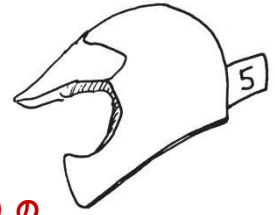
【12】 ゼッケンナンバー

- 全道モトクロス選手権シリーズ戦については年間指定ゼッケンとする。
- 年間指定ゼッケンは 2026 年度全道モトクロス選手権シリーズ指定ゼッケン表による。
- 指定ゼッケンを持つものは、大会エントリー時にゼッケンナンバーをエントリー用紙に記入の上、申し込むこと。
- 2026 年度の指定ゼッケン決定基準は次の通りとする。
 - ①2025 年のシリーズポイントランキング順。
 - ②NA から IB への自動昇格者はランキング順に 01～のルーキーゼッケンを指定する。
 - ③NB から NA に申請昇格される方は昇格確定後ランキング順にルーキーゼッケン（01～）を指定する。
ジュニアから NA に申請昇格される方は昇格確定後ランキング順にルーキーゼッケン（011～）を指定する。
 - ④2026 年 **CX クラスの参加資格（小学 6 年生以下）** から外れる方のゼッケンは欠番として、
前年 CX クラスのランキング順にキッズ 65 クラスのゼッケンを指定する。
 - ⑤JX クラスで年齢による自動昇格者のゼッケンは欠番としてノービスクラスのゼッケンをエントリー順に指定する。
 - ⑥申請昇格者、及び特別昇・降格者のゼッケンはクラス確定後、欠番とする。
 - ⑦指定ゼッケンを持たない参加者は MFJ 広域事務局に空き番号を問い合わせること。
 - ⑧第 1 戦の受付期間前については MFJ 広域事務局が主催者と調整の上、申し込み順に指定する。
 - ⑨ライダー同士の**ゼッケンナンバーの交換は基本的には認めないが、希望ゼッケンでの購入により認められる場合がある。**
 - ⑩インターナショナルオープンクラスに出場する IA ライダーは全日本シリーズ（IA1 と IA2）と共通の番号を使用する。
IA ライダーのゼッケンナンバーが未定の場合、MFJ 本部へ問い合わせ、発番を受けること。
 - ⑪オープン 85 のゼッケンは、**ジュニアクロス・ノービス 85 クラス他クラス参加**のライダーは全道指定ゼッケン No.を使用し、

その他のライダーは MFJ 広域事務局へ空き番号を問い合わせること。但し、参加者の番号が重複した場合は、主催者が修正（応急措置）を指示するので、ライダーはそれに従うこと。※2026 ゼッケンは 2025 年 NB85 のランキング順とします。

- ライダーは雨天の場合に備え補助ゼッケンプレートを用意し、競技監督が取り付けを指示した場合速やかにヘルメットに取り付けなければならない。

補助ゼッケンプレート（例）



- 予選・決勝レースは指定ゼッケンの記入されたジャージまたはプロテクターの着用が推奨される。

※ 地方選手権公認クラスに出場するライダーは、バックプロテクター・チェストガード（ブレストガード）の装備が義務付けられる。承認クラスにおいても着用が強く推奨される。

- ゼッケンプレートの色

クラス	ゼッケンカラー
CX50A/B	白地に赤文字
キッズ 65	緑地に白文字
ジュニアクロス	赤地に白文字
ノービス	白地に黒文字
ナショナル	黄色地に黒文字
インターナショナルオープン（IB）	青地に白文字
インターナショナルオープン（IA2）	MFJ 指定カラー
インターナショナルオープン（IA1）	MFJ 指定カラー

- ゼッケンナンバーの書体は 2026MFJ 国内競技規則 モトクロス 付則 17 モトクロス基本仕様 3-15 ナンバープレート 3-15-5 の書体参考例)を参考とし、遠くからでも読みやすい書体でなければならない。
- ゼッケンプレート規則の詳細は 2026MFJ 国内競技規則 モトクロス 付則 17 モトクロス基本仕様 3-15 ナンバープレート を参照

【13】 希望ゼッケン

- 希望ゼッケンは、全クラス 3 桁（999）を限度とし、申込時点で空きのある番号に限る。
- 希望者は、ゼッケンの年間使用代として 10,000 円を指定口座に支払う。
- ゼッケン代金未払いのナンバーは大会で使用できない。
- 申込先：申込は MFJ ホームページ全道モトクロス選手権ゼッケンのページから
https://www.mfj.or.jp/local/2026-mx-hokkaido/?page_type=bibs

【14】 パドック

- パドックオープンはレース開催前日土曜日のコースオープン時間（公式通知に示される）とする。
- 場所取りについて：テープのみの場所取りは禁止。車やテントの設置又は人がいることを場所取りの条件とする。
- 車やテントの設置又は人がいない状態で場合取りをしている場合は、テープなどを撤去する場合がある。
- パドック利用については係員の指示に従うこと。
- パドックへの駐車は極力トランスポーターのみとし、乗用車は会場指定の観客用駐車場を利用すること。
（各主催者発行の車両通行証をダッシュボード上に提示して下さい）

【15】 出場受付・車検（大会当日）

- 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人又は当該ライダーのメカニックが出向き MFJ ライセンス・参加受理書を提示し出場資格の確認を受けなければならない。
- 健康保険証は、提示しなくても良いが、万一負傷した場合に備え、必ず持参すること。
- MFJ ライセンスを提示できない場合は、原則として出場を認めない。
- エントリー用紙と車両仕様書の内容を確認するため、車検の前に受付を済ませ、車両仕様書に検印を受けること。
- 専用窓口にて（受付近く）、ヘルメット公認マークチェックを行い、マークが確認できればヘルメットに合格シールを貼り、車両仕様書のヘルメット検印欄に検印を押す。
- ヘルメット公認マークは自ら露出した状態で係員に提示すること。係員は原則ヘルメットに触れない。
- 参加者は受付の車両ナンバー確認とヘルメットマーク確認の 2 つの検印が押された車両仕様書を持って車検を受ける。
- 車検にて車両仕様書と実車のエンジンナンバー・フレームナンバーを確認しマーキングをする。
- 大会前日に受付・車検の時間帯を設ける場合がある。
- 大会当日の出場受付時、メディカルパスポートを持参していることを確認する。

【16】 ライダーズブリーフィング

- 参加者は、必ずライダーズブリーフィングに出席しなければならない。
参加しない選手対策としてブリーフィング時、リストにチェックしてもらいチェックがない選手はペナルティの対象となる場合がある。
※タイムスケジュールに示された時間以外にもライダーズブリーフィングを行う場合がある。
※感染症の拡大状況等により書面配布方式／掲示が採用される場合がある。

【17】 車両の変更

- 車両検査終了後エントリー用紙に記載した車両を安全上の理由（亀裂・破損・故障など走行に支障をきたす状態）により変更する必要がある場合は、所定の書式に従って変更申請を行い、競技監督が認めた場合に限り車両の変更が認められる。
- 車両や部品交換の変更手数料等については 2026 年度 MFJ 国内競技規則付則 15 **18 車両ならびにマーキング部品の変更** による。
- 車両検査終了後、ライダー間でマシンを交換することは禁止される。

【18】 公式練習

- ライダーは、タイムスケジュールに定められた公式練習に参加しなければならない。
※公式練習に参加しないライダーは、予選・決勝レースに出走できない。
- 各クラスの公式練習時間は以下のとおりとする。

クラス	公式練習時間
CX50A/B	10 分間
キッズ 65	
オープン 85	
ファンバイク A/B	
ジュニアクロス	
ノービス	15 分間
ナショナル	
インターナショナルオープン	

- 公式練習走行中のスタート練習は禁止する。

【19】 公式予選

- 各クラス、受付終了時点で 32 台以上の種目については原則予選を実施する。（CX50 クラスを除く）
- 公式予選の組分けは、受付終了後公式練習終了までに発表される。
- 著しくコースコンディションが悪化した場合、競技監督・主催者・選手会が協議し、タイムアタック方式の予選を採用する。
その場合上位 30 名を決勝進出者とする。タイムアタックの時間割は競技監督、審査委員会が協議の上決定する。

【20】 競技時間・順位

- 予選レースは、**4 周** を基本とする。（予選の有無・周回数は公式通知に示される）
- 決勝レース時間は以下の通りとする。

クラス	レース時間
CX50A/B	8 分+1 周
キッズ 65	10 分+1 周 ×2 ヒート
オープン 85	10 分+1 周 ×2 ヒート
ファンバイク A/B	10 分+1 周
ジュニアクロス	10 分+1 周 ×2 ヒート
ノービス	10 分+1 周 ×2 ヒート
ナショナル	15 分+1 周 ×2 ヒート
インターナショナルオープン	20 分+1 周 ×2 ヒート

- 2 ヒート種目（K65・**オープン 85**・JX・ノービス・ナショナル・インターナショナルオープン）の総合順位決定方法
 - 1) 1 ヒート、2 ヒートの合計得点が多い者。
 - 2) 合計得点と同じ場合は、より上位の順位を多く獲得した者を優先する。
 - 3) 上記条件でも決定できない場合、最終ヒートの成績を優先する。

【21】 スタート

● スタートの方法

エンジンランニングスタートとし、ヘルメットタッチは行わない。(CX50 クラスを除く)

● スタートの手順

1) プレパレーションエリアに待機する(抽選がある場合は抽選後)

2) レース開始予定時刻 10 分前または参加者が揃った時点でオフィシャルの合図に従いグリッド優先順に停止状態で押しながら選択したグリッドに着く。CX クラスを除き、グリッドはライダー自身が選択するものとし、ピットクルーがグリッドを選択したり、当該ライダーより先にグリッドに着いてはならない。

* グリッド優先順

・1 ヒート種目および 2 ヒート種目のヒート I : 抽選で優先順を決める。

抽選に間に合わないライダーは待機中のライダー全員がグリッドについた後グリッドを選択する。

(遅れたライダーの優先順位は到着した順番となる)

・2 ヒート種目のヒート II : ヒート I の順位で優先順を決める(上位からグリッドに付く)。

・予選がある場合はヒート I ・ヒート II とも予選結果により優先順を決める(トップタイムの早い組より交互に優先順を決定)。

* 第 1 ライダーが動いた時点より遅れて来たライダーは最後尾からのグリッド整列となる

(遅れたライダーの優先順位は到着した順番となる)。

* 最後尾のライダーが動いた時点でプレパレーションエリアのゲートは閉鎖され、ゲートの閉鎖に間に合わなかったライダーはいかなる理由があっても出走することはできない。

* スターティングエリアに入場できるのは、当該ライダー、ピットクルー(1 ライダーにつき 1 名まで)、オフィシャル、登録されたプレス、競技監督が特別に認めた者(傘持ち、キャンギャル等)のみとする。スターティンググリッド前(コース側)はオフィシャルおよびプレスを除き、いかなる者もこのエリアに立ち入ることはできない。

3) 全ライダーがスターティンググリッドに着いた時点で、オフィシャルの合図により当該クラス出場ライダーおよび当該ライダーに登録されたピットクルー 1 名は、道具を使用せずに約 1 分間地ならしができる。

* ピットクルーがいないライダーは車両の保持のため簡易スタンドの使用が認められる。

* スターティンググリッドより前方のコース修復は一切認められない。また、自分のスタートエリア外から土等を搬入する行為は禁止する。

4) コースクリアが確認された後、オフィシャルがエンジン始動の合図をグリーンフラッグ等により行う。

グリーンフラッグ提示時点でライダー、オフィシャル以外は速やかにスターティングエリアより退去する。

* エンジン始動の合図が出された後はライダー、マシンに何らかの問題が発生しても競技は続行されるが、当該ライダーに登録されたピットクルー(1 名)は、競技監督の許可を得て安全上スタートに支障の無い場所で作業することができる(スタートに支障の無い場所は、競技役員により指示される)。

5) ウォーミングアップ(約 1 分間)後、「15 秒ボード」が、約 15 秒間提示される。

6) 次に「5 秒ボード」が提示された後、約 5~10 秒以内にスタートとなる。

7) スタートの合図は、スタート系の合図(国旗等)によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。

● スタート台数

原則として最大 30 台以内とする。(特別な場合は、公式通知に示される)

【22】 黄旗振動適用区間

- 事故現場直近の黄旗振動だけでは適用区間が短すぎる場合があるので旗振動ひとつ手前のコース員も旗振動とする。ふたつ手前では旗静止とする。



【23】 赤旗事象発生時について

- 赤旗が出た場合、全コース員は黄旗静止を出す。赤旗は振動とする。
- コースを一周してスターティングエリアへ戻ることとする。

【24】 リタイヤ届

- 何らかの理由によりレースをリタイヤする場合ライダー又はピットクルー・関係者は速やかにリタイヤ届を提出すること。

【25】 ピット及びサインエリア

- ピット及びサインエリアは、主催者により指示される。
- 出場選手はレース中に、ピット区域以外のパドックへ戻った場合失格となる。

【26】 音量測定

- 競技役員判断により、音量測定を行う場合があるので、その際は速やかにその指示に従うこと。
- 他のライダー及びピットクルーから正式抗議があった場合も同様に測定を行う。
- 音量の測定方法：すべての車両の音量測定は「2mMAX」方式で行う
- 2mMAX 方式の最大音量は 114dB/A とする。(騒音値の小数点以下の切捨ては行わない)
- サイレンサーが 1 本を超えるエンジンの音量測定は、いずれか一方のエキゾーストパイプの先端で測定される。
(必要に応じて両方の先端で測定する)
- レース終了後の検査では +1dB/A の許容誤差が認められる。

※音量規制の詳細は 2026MFJ 国内競技規則 [モトクロス 付則 17](#) [モトクロス基本仕様 5](#) [音量規制](#) を参照

【27】 2026 年度の昇格人数

- IB→IA（申請昇格）：~~インターナショナルオープンクラスのランキングIB最上位ライダーで、かつ当該年度の全日本選手権シリーズでポイントを獲得した者はIAに申請昇格する権利が与えられる。~~

2026 年度 MFJ 国内競技規則付則 1 MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則 6-8-2 を参照。

- NA→IB（申請昇格）：シリーズランキング**上位 4 位まで**の成績を得た者。
- NB→NA（申請昇格）：シリーズランキング**上位 6 位まで**の成績を得て昇格申請を提出した者。
- J→NA、NB（申請昇格）：シリーズランキング**上位 2 位まで**の成績を得て昇格申請を提出した者は NA または NB に申請昇格する権利が与えられる。

* 昇格者数は同点者のある場合、この人数を超えることができる。

* MX 全国大会の獲得ポイントは合算されない。

* 昇格規定の詳細は 2026 年 MFJ 国内競技規則書に示される。

全道モトクロスランキング規定

- ①ポイントランキング（得点の多い）順。
- ②同点の場合は上位入賞回数順。
- ③上記②で決定できない場合は最終戦結果上位のものを上位とする（ヒートレースの場合はヒートごとの順位）。
- ④上記③で決定できない場合は最終戦に近い同一大会成績結果上位のものを上位とする。
- ⑤上記④で決定できない場合は、前年度のランキング順とする。
- ⑥上記⑤で決定できない場合は北海道地区モトクロス部会において最終決定する。

【28】 メディカル関連

- 緊急搬送時対応施策として大会参加者は各自「メディカルパスポート」を所持しなければならない。
競技期間において万が一負傷し外部医療機関へ緊急搬送された場合、搬送先の医療機関にてライダーの個人データの提出が求められる場合があるため、ライダーはあらかじめ必要事項を記入した「メディカルパスポート」を携帯し、医療機関で求められた際、提出することにより円滑な治療、判断に役立たせるもの。

なおメディカルパスポートの記載内容は個人情報であるため、ライダー本人、保護者またはチームでの保管・管理とする。MFJ メディカルパスポートは以下よりダウンロードできる。

<https://www.mfj.or.jp/licence/downloads/medical-passport-document/>

- 大会期間中に脳震盪と判断された場合は以降の走行を禁止する。次大会は完治の診断書を提出しなければ出場できない。
- 大会当日の出場受付時、メディカルパスポートを持参していることを確認する。

【29】 公認ヘルメット

- 公認マークのないヘルメット（海外メーカー等で正規代理店を経由しないものを含む）は MFJ 競技会では使用できない。
特例として公認マークが「剥がれてしまった場合のみ、公認モデルであることを前提に誓約書を提出して 1 大会のみ出場が認められる場合がある。この場合次の大会までに製造メーカーまたは正規輸入代理店にライダーが直接連絡しマークを購入、貼付すれば次戦以降使用可能となる。
- 大会当日に特別検査料を徴収し公認シールを貼付するサービスは行わない。
- 公認モデルでないヘルメットを使用した状態で事故等が発生した際、保険が適用されない場合がある。
- 大会当日の公認マーク確認については【15】出場受付・車検を参照のこと。

【30】 ライダー・ピットクルー・関係者の遵守事項

- ライダー、ピットクルー・関係者は大会期間中を通じて次の事項に注意しなければならない。

- 1) MFJ 国内競技規則・本特別規則ならびに競技運営上の規定（公式通知等）及び競技役員の指示に従うものとする。
- 2) モトクロス場付近では、車の走行に充分注意し付近住民等に迷惑を与えるような行為は行ってはならない。
- 3) パドック利用においては必要以上のスペースを確保せず、常に譲り合いの精神を持つこと。
- 4) パドック内での宿泊において、周囲に迷惑をかける行為（飲酒や深夜までの騒ぎ声など）は行ってはならない。
- 5) パドック内での貴重品はすべて、自己責任において管理すること。パドック内で盗難事故、その他の事故や紛争について、主催者ならびに施設は一切関知しない。
- 6) 会場では防火対策に努め、ABC 粉末タイプ 4 型（内容量 1.2Kg）以上の消火器を準備する事が推奨される。
- 7) パドックでの火器の使用は可燃物から離れた位置で行なうこと。
- 8) パドックでの喫煙は各自可燃物から離れた位置に喫煙場所（車内等）を設けそこで行うこと。
- 9) ゴミは各自が持ち帰り、パドックに放置しないこと。
- 10) 大会開催期間中のドローンによる空撮及び飛行は会場内のいかなる場所でも禁止とする。
- 11) 感染症の拡大状況によっては感染防止申告書の提出等、主催者の講じる感染症対策に協力いただく。
（遵守いただけない方には、他の参加者の安全確保等の観点から、競技の参加を取り消したり、途中退場を求めたりする場合がある）
- 12) **大会会場での自転車、電動バイクなどの乗りものは禁止とする。**

【31】 損傷の責任

- 競技開催期間中に起こった損傷は自らが責任を負うものとする。
- 競技役員等主催者側はいかなる場合も一切の損害賠償責任を負うことはない。
- 競技に関連して起こった事故により負傷した場合「スポーツ安全保険」の保険金が請求できるので必ず救護員の手当てを受け、大会事務局に届け出る事。※届出がなかった場合「スポーツ安全保険」の請求は受付できない。
- 競技役員は、その職務に最善を尽くすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび競技車両等への損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

【32】 本規則の解釈及び施行

- 本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑の申し立てが出来る。但し、申し立てが出来るのはライダー及び登録されたピットクルーのみとする。尚この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。
- 本規則は 2026 年全道モトクロス選手権シリーズ開始時点より有効とし、本規則に示されていない事項は、2026MFJ 国内競技規則による。
- 本規則は MFJ ホームページで公開される。

以 上
北海道地区モトクロス部会